

## ウォシュレット® ネオレストD1・2 施工説明書

ウォシュレットはTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

### 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告  誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。		注意  誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。	
	浴室など湿気の高い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)		便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)		給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)		止水栓を開けたままで給水フィルター、給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)
	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)		施工は施工説明書に従って確実に (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
	給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)		給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)
車輻・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、故障の原因になります。) (便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。)			
	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)		
	アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)		

### 工事店様へ

- 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、下記手順で大洗浄6L(小洗浄5L)仕様で大洗浄8L(小洗浄6L)仕様としてお使いいただけます。  
 切替手順：①ウォシュレット本体操作部の運転ボタンを「切」にしてください。→ウォシュレット本体表示部のLEDが消灯します。  
 ②ウォシュレット本体操作部の流すボタンを10秒以上押し続けます。→ビップ音が鳴れば設定完了です。  
 (元の状態に戻すときは、もう一度流すボタンを10秒以上押し続けます。→ビップ音が鳴れば設定完了です。)  
 ③ウォシュレット本体操作部の運転ボタンを入れて、試運転をしてください。
- 開閉工具はすっきりパネル内の工具ホルダーに取り付けてください。
- スティックリモコンで使用しなかった流すボタンラベル・盗難防止用部品、乾電池をお客様にお渡しください。
- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- 次の設定について、(URL)<http://search.toto.jp/contents/navi/「施工情報」>をご覧ください。

連立対応 → 「ウォシュレットリモコン連立対応方法」

洗浄位置方向の変更 (ウォシュレットに向かって右側の壁に取り付ける場合のみ) → 「スティックリモコン洗浄位置方向の変更」

### 取り付け前のご注意

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は1281W(ヒーター付便器の場合は1321W)です。この電力に適した配線をしているか確認してください。
- 電源コードの長さは約1.0m(ヒーター付便器は約1.1m)です。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力範囲は0.07MPa(20L/min流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
- 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 同梱以外の給水ホースを使わないでください。  
 ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

### 同梱部品

リモコン部品 ※標準リモコンまたはスティックリモコンのいずれかが同梱されています。

<p>標準リモコン</p> <p>リモコン</p> <p>リモコンハンガー</p>	<p>スティックリモコン</p> <p>リモコンハンガー</p>	<p>「流すボタン」ラベル</p> <p>リモコン盗難防止用部品 (取付説明書付)</p> <p>※必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。</p>
<p>乾電池 (単3形×3個)</p>	<p>ねじ (3本)</p>	<p>アンカープラグ (3本)</p>

<p>ウォシュレット本体固定具</p> <p>取付ボルト (2本)</p>	<p>化粧カバー</p> <p>ねじ付キャップ</p>	<p>ストレーナ</p> <p>ストレーナ</p> <p>説明書</p> <p>※連結ホースについています。</p>	<p>取扱説明書 (本書)</p> <p>施工説明書 (本書)</p> <p>延長保証チラシ、申込用紙</p> <p>点字シール (標準リモコンのみ)</p> <p>便器洗浄ラベル (標準リモコンのみ)</p> <p>施工説明書</p> <p>取扱説明書</p> <p>延長保証チラシ</p> <p>申込用紙</p> <p>点字シール</p> <p>便器洗浄ラベル</p>
---------------------------------------	-----------------------------	--	--

### 各部のなまえ

ウォシュレット本体操作部

便ふた

ウォシュレット本体

リモコン受信部

ウォシュレット本体表示部

給水フィルター

着座センサー・人体検知センサー (D2のみ)

電源プラグ

止水栓

アース線

ノズル

暖房便座

便器

給水ホース

すっきりパネル (左右2カ所)

工具ホルダー

開閉工具

※給水フィルター開閉用 開閉工具の形状は多少異なる場合があります。

止水栓

すっきりパネル

給水ホース

(図は床給水の場合)

(図はリモデルタイプ壁給水の場合)

## ■ 施工の手順は次の通りです

この施工手順に従ってウォシュレットを正しく取り付けてください。詳しくは **取付方法** をご覧ください。

- 1 ウォシュレット本体を便器に**仮置き**する  
※便器に固定しない
  - 2 連結ホースと分岐金具の**接続**  
※試運転まで止水栓は開けないこと
  - 3 便器洗浄バルブ用コネクタの**配線**
  - 4 ウォシュレット本体を便器に**固定**する
  - 5 アース線の**接続**
  - 6 電源プラグの**確認**
  - 7 リモコンの**取り付け**
- 試運転（作動・水漏れチェック）をする
- すっきりパネルを取り付ける

### ⚠ 注意

- ウォシュレット本体の連結ホースを接続する前に便器洗浄つまみを操作しない（水が噴き出します。）
- 連結ホースを便器穴に通すとき、ホースが折れないように注意する（ホースが折れると水漏れの原因になります。）

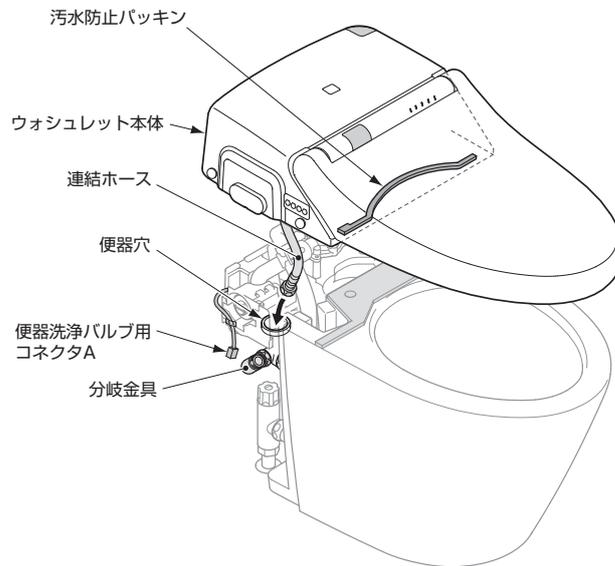
## 取付方法

### 1 ウォシュレット本体を便器に**仮置き**する

#### 注意

- ※ウォシュレット本体の固定は必ず連結ホースを接続したあとに行ってください。（先にウォシュレット本体を固定すると連結ホースの接続がしにくくなります。）
- ※製品を便器に取り付けるときに便座・便ふたを持つとはずれることがあります。

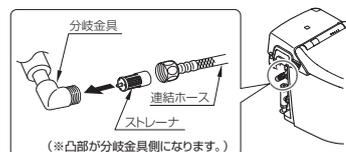
- 1 連結ホースを便器穴に通す  
※便器洗浄バルブ用コネクタAを挟み込んでいないか確認してください。
- 2 ウォシュレット本体と便器とを平行にし、**真上から置く**  
※汚水防止パッキンのめくれ防止のためです。



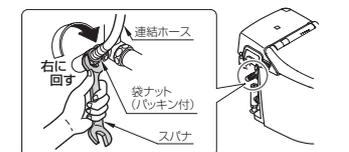
### 2 連結ホースと分岐金具の**接続**

- 1 連結ホースについているストレーナを取りはずす
- 2 ストレーナを凸部から分岐金具に差し込み、連結ホースの袋ナットをスパナで締め付ける  
※パッキンが付いていることを確認してください。水漏れの原因になります。  
※確実にセットされ、連結ホースが抜けかないことを確認してください。

ストレーナを分岐金具に差し込む



分岐金具に連結ホースをスパナで締め付ける



### 3 便器洗浄バルブ用コネクタの**配線**

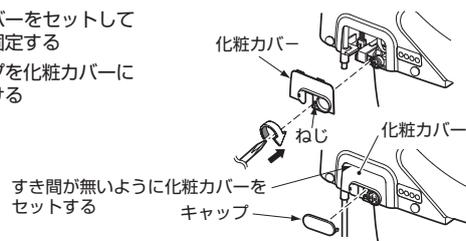
#### 1 便器洗浄バルブ用コネクタを接続する

- 1 コネクタAのテープをはずす
- 2 コネクタBを引き出し、コネクタAと接続する（無理に引き出さない）  
※コネクタの接続が確実か再確認してください。
- 3 接続したコネクタA、Bをウォシュレット本体の中に取り入れる
- 4 コネクタAのリード線を切り欠き部に押し込み、奥側に挿入する



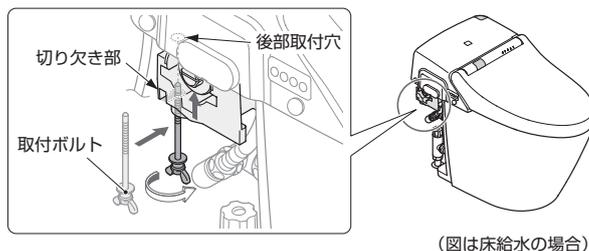
#### 2 化粧カバーを取り付ける

- 1 化粧カバーをセットしてねじで固定する
- 2 キャップを化粧カバーに取り付ける



### 4 ウォシュレット本体を便器に**固定**する

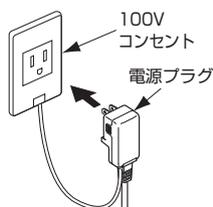
- 1 便座・便ふたを開ける（キズ防止及び施工をしやすくするため）
- 2 後部切り欠き部から取付ボルト先端を内側へスライドさせて後部取付穴へ差し込む（左右2カ所）  
※後部取付穴と取付ボルトの位置を合わせてください。



- 3 取付ボルトを手で締め付け、回らなくなるまで増し締めを行い、便器とズレないように確実に固定する

## 5 アース線の接続

- アース線をコンセントのアース端子に接続する
- ※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



## 6 電源プラグの確認

ご注意 (D2のみ)

電源プラグを入れて最初に使ふたが開くとき、障害物に当たると次から使ふたが途中で止まる場合があります。(3回続けて開いた位置を記憶します。) 障害物がない状態で電源プラグを一度ははずしてから差し込み、リモコンの または を押してください。

### 1 電源プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む

- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

### ヒーター付便器の場合 (外気温が0℃以下になる時のみ)

便器ヒーター用電源プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒーター用電源プラグに差し込んでください。

### 2 電源プラグの「入」「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

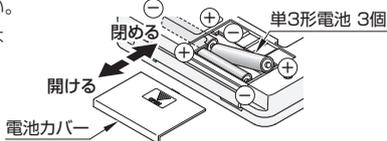
- 「切 (テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
- 「入 (リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
- 以上のように作動すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず「入 (リセット)」ボタンを押してください。

## 7 リモコンの取り付け

### 1 電池カバーを開け、リモコンに電池を入れる

※ を間違えないでください。

※スティックリモコンの場合は電池2個しか使いません。(予備1個)



(図は標準リモコン)

### 2 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める

＜作動の確認＞

- 着座センサーを白紙でおおい、「おしり」ボタンを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

※次の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

- 室内の広さ、壁、材質などの条件が合わないとき
- 黒っぽい天井や壁のとき
- インバータ方式の照明下のとき

※標準リモコンは下側に約170mmの空間を確保してください。(リモコンカバーを開けたときの干渉防止のため)

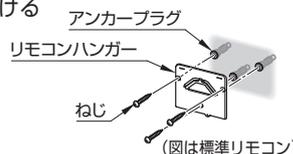


(図は標準リモコン)

※スティックリモコンを図と反対側に取り付ける場合は、「洗浄位置方向の変更」が必要です。(工事店様へ参照)

### 3 リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



(図は標準リモコン)

スティックリモコンには盗難防止用の部品が同梱されています。リモコンを固定する場合に使用してください。(必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。) 取付方法は同梱の説明書をご覧ください。

## 試運転

●試運転の前には必ず「運転入/切」ボタンが「入」になっていることを確認してください。(「入」のときは「運転」ランプが点灯します。)

「運転入/切」ボタンが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。

※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」ボタンを切らないでください。



ウォシュレット本体表示部

●運転 ●便座 ●脱臭 ●節電 ●センサー

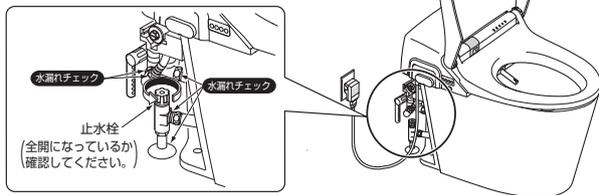
●点灯する (表示はD2)

●運転ランプが点灯していることを確認してください

### 1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する

※万一、水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。



### 2 機能の確認 (便座を閉めないで着座センサーをはたらきません。)

#### 1 オートプレ洗浄を確認する (D2のみ)

標準リモコンの場合

- 「オート機能プレ洗浄入/切」ボタンを「入」にします。

スティックリモコンの場合 リモコン裏面のボタンで操作します。

- 押す
- で「その他設定」を選び 押す
- で「プレ洗浄」を選ぶ
- で「入/切」の「入」を選び 押す

#### 2 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。検知するとノズル付近から数秒間水が出ます。
- 便器ボウル面に少量の水が流れますか？ 確認後、オートプレ洗浄を「切」にしてください。(1の操作で「切」にする)
- ※白紙をおおっている間にウォシュレット本体表示部のランプが消えることがあります。



#### 3 脱臭機能を確認する

- ウォシュレット本体の右側面の吹出口より風が出ていますか？



#### 4 パワー脱臭機能を確認する

- 「パワー脱臭」ボタンを押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度、「パワー脱臭」ボタンを押すと通常の音に戻りますか？

#### 5 洗浄機能を確認する

- 「おしり・やわらか・ビデ洗浄」ボタンを押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- ※水が出ないときは取付方法 2を確認してください。
- 水勢調節「+」「-」ボタンを押すと水勢が変化しますか？
- 「止」ボタンを押すと止まりますか？
- 吐水は紙コップなどで受けてください。



#### 6 乾燥機能を確認する

- 「乾燥」ボタンを押すと温風がノズルの右側から出ますか？
- 「止」ボタンを押すと止まりますか？

#### 7 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

#### 8 着座センサーを白紙でおおった後、白紙をはす

# 試運転

## 9 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？ ●1分後に自動で止まりますか？

## 10 オート洗浄機能を確認する

- 便座・便ふたを開けて便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動で便器洗浄しますか？(D2のみ)
- ※便器の水の流れが悪い場合は、給水圧が低い可能性があります。そのときは便器部の施工説明書に従って給水圧を調べてください。

## 11 リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する(D2のみ)

- 「リモコン便座・便ふた開閉」ボタンを押すと便座・便ふたが開閉しますか？

## 12 リモコン便器洗浄機能を確認する

- ※オート洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。
- 「リモコン便器洗浄」ボタンを押すと便器の水が流れますか？

## 13 オート開閉機能を確認する(D2のみ)

- 一度便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。便器から離れて約10秒経過後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか？
- 便ふたが開いた後、便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まりますか？

## 14 流動による凍結予防の確認をする

- 次の操作により一定の間隔で水を流して凍結予防します。

### 標準リモコンの場合

- ①リモコンの「止」ボタンを10秒以上押す  
リモコンの表示部がすべて点滅します。
- ②リモコンのカバーを開けて「節電タイマー入/切」ボタンを押す
- ③リモコンのカバーを開けてもう一度「止」ボタンを押す

- ウォシュレット本体の「運転」ランプが点滅しますか？
- 5分後にノズルの根元から水が出ますか？
- さらに5分後に便器洗浄しますか？

- ④確認が終わったら再度①～③の操作を行う  
(凍結予防をやめます。)
- ⑤確認が終わったら再度①～④の操作を行う  
(凍結予防をやめます。)

- ウォシュレット本体の「運転」ランプが点滅から点灯に変わりますか？
- ※必ず運転ランプを点灯の状態にしてください。

### スティックリモコンの場合

リモコン裏面のボタンで操作します。

- ① を押す
- ② で「その他設定」を選び を押す
- ③ で「凍結防止入/切」を選び を押す
- ④ で「はい」を選び を押す

# 給水フィルターの掃除

- 給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

## 【便器側】

### 1 止水栓を閉めて給水を止める

#### 標準リモコンの場合

- ①リモコンの「そうじモード/ノズル入/切」ボタンを押し、ノズルを伸ばさせる
- ②もう一度「そうじモード/ノズル入/切」ボタンを押し、ノズルを元に戻す(給水管の圧抜き)

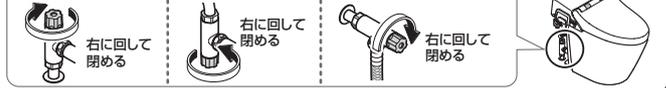
#### スティックリモコンの場合

- リモコン裏面のボタンで操作します。
- ① を押す
  - ② で「お手入れ」を選び を押す
  - ③ で「ノズルそうじ開始/停止」を選び 押し、ノズルを伸ばさせた後、もう一度 押し、ノズルを戻す(給水管の圧抜き)

### 【注意】

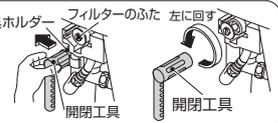
- ⊘ 止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない  
禁止 ●水が噴き出します。

### 床給水の場合 壁給水の場合 リモデルタイプの場合



### 2 給水フィルターをはずす

- 工具ホルダーから開閉工具を取り出してください。
- 開閉工具でフィルターのふたをはずします。
- フィルターと一緒にはずれます。



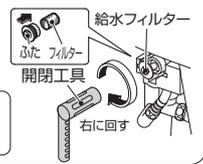
### 3 掃除をする

- フィルターを取りはずし、網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。
- ※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
- ※止水栓本体の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



### 4 給水フィルターを取り付ける

- 元のように組み込み、開閉工具でフィルターのふたを締めてください。
- 使用後は開閉工具を工具ホルダーへ戻してください。



### 【注意】

- ⚠ 給水フィルターは確実に締める  
必ず守る ●確実に締めないとお漏れの原因になります。

## 5 止水栓を開けて、止水栓及び配管接続部から水漏れしていないことを確認する

- 止水栓を開けてください。
- 止水栓及び配管接続部から水漏れしていないか確認してください。

### 床給水の場合

左に回して全開にする



### 壁給水の場合

左に回して全開にする



### リモデルタイプの場合

左に回して全開にする



## 【ウォシュレット側】

### 1 止水栓を閉めて給水を止める (給水フィルターの掃除【便器側】1項参照)

### 2 キャップを取りはずし、給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはまず



### 3 フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ※ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

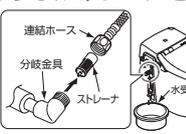


### 4 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める



### 5 連結ホースをはずし、ストレーナを取り出す

- ※連結ホースをはずすときは、水受けを準備してください。



### 6 ストレーナを水洗いして小さなゴミを取る

- ※分岐金具内のゴミも綿棒などで取り除いてください。

### 7 ストレーナを凸部から分岐金具に差し込み、連結ホースの袋ナットを締め付ける (2)連結ホースと分岐金具の接続 2項参照)

### 8 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部と連結ホースの袋ナット部からの水漏れがないことを確認する (止水栓の開けかたは 給水フィルターの掃除【便器側】5項参照)

### 9 キャップを取り付ける (3)便器洗浄バルブ用コネクタの配線 2項参照)

# すっきりパネルの取り付けかた・取りはずしかた

- 便器の左右2カ所にすっきりパネルを取り付けてください。

### 1 すっきりパネルの後ろ側を手で持ち、手前に引いて取りはずす



### 2 すっきりパネルをパネル取り付け基準線に合わせて取り付ける



# 製品引き渡しまでの期間が長い場合(ヒーター付便器・水抜併用方式の場合)

### 1 水抜栓を操作して給水を止める

- 止水栓は開けたままにしておいてください。

### 【注意】

- ⊘ 水抜栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない  
禁止 ●水が噴き出します。



### 2 配管の水を抜く (給水フィルターの掃除【ウォシュレット側】2・4項参照)

### 3 ノズル内の水を抜く

#### 標準リモコンの場合

- ①リモコンの「そうじモード/ノズル入/切」ボタンを押し、ノズルを伸ばさせる
- ②もう一度「そうじモード/ノズル入/切」ボタンを押し、ノズルを元に戻す

#### スティックリモコンの場合

- リモコン裏面のボタンで操作します。
- ① を押す
  - ② で「お手入れ」を選び を押す
  - ③ で「ノズルそうじ開始/停止」を選び 押し、ノズルを伸ばさせた後、もう一度 押し、ノズルを戻す

### 4 ウォシュレット内の水を抜く

- ①水抜きレバー(灰色)を引く  
●本体下側から約10秒間、水(約40ml)が便器内に出ます。
- ②水抜きレバーを元に戻す
- ③本体にキャップを取り付ける



### 5 電源プラグを抜く

### 6 便器内の溜水を処置する